

東

# 平成27年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

平成27年2月4日

上場取引所

上場会社名 株式会社 三社電機製作所

URL <a href="http://www.sansha.co.jp">http://www.sansha.co.jp</a> コード番号 6882

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者(役職名)管理本部経理部部長

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 無 四半期決算説明会開催の有無 無 (氏名) 四方邦夫

TEL 06-6321-0321 (氏名) 丸山博之

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率) 売上高 営業利益 経常利益 四半期純利益 百万円 9/0 百万円 百万円 百万円 27年3月期第3四半期 15,495 △6.4 1,507 △18.5 1,512 △22.8 1,091 △21.4 26年3月期第3四半期 16,563 14.5 1,848 1,388 142.8 60.2 1,960 67.9

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 1,474百万円 (△13.3%) 26年3月期第3四半期 1,699百万円 (154.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	73.03	_
26年3月期第3四半期	97.59	_

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	28,197	17,995	63.8	1,204.25
26年3月期	27,602	16,756	60.7	1,121.30

(参考)自己資本

27年3月期第3四半期 17,995百万円

26年3月期 16,756百万円

#### 2 型本の作品

2. 60 3 07 1人元									
	年間配当金								
	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計								
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭				
26年3月期	_	7.00	_	8.00	15.00				
27年3月期	_	7.00							
27年3月期(予想)				8.00	15.00				

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日~平成27年 3月31日)

(%表示は、	対前期増減率)

	売上	高	営業和	利益	経常和	刊益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	△3.3	1,800	△27.8	1,800	△30.3	1,150	△30.4	76.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	14,950,000 株	26年3月期	14,950,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	7,099 株	26年3月期	6,541 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	14,943,068 株	26年3月期3Q	14,223,839 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は 様々な予想数値と異なる場合があります。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税後の個人消費の落ち込みがあったものの、企業収益の改善を背景に設備投資が増加し、緩やかな景気回復基調が続きました。

一方、海外では、米国において雇用の改善・個人消費の回復により景気改善が進み、金融の量的緩和を終了し金利引き上げ時期を検討する局面となり、11月以降は急激にドル高・円安が進みました。

このような事業環境の中、当社グループの事業領域であるパワー半導体事業の分野におきましては、半導体モジュールの需要が堅調に推移しました。

一方、電源機器事業におきましては、当社の得意分野である産業用一般電源の売上を伸長させることができま したが、大型の太陽光発電パワーコンディショナにおきましては、減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は154億9千5百万円(前年同期比 6.4%減少)となりました。

利益につきましては、営業利益は15億7百万円(前年同期比18.5%減少)、経常利益は15億1千2百万円(前年同期比22.8%減少)、四半期純利益は10億9千1百万円(前年同期比21.4%減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (a) 半導体事業

当事業におきましては、主力商品であるパワーモジュールの販売が、産業機械向け、商用エアコン向け、エレベーター向け等多岐に亘る用途で国内外ともに堅調に推移しました。特に海外の商用エアコン向け販売は3億6千6百万円(前年同期比43.0%増加)と大きく伸長いたしました。これらにより、産業用一般モジュールの売上高は39億3千万円(前年同期比18.3%増加)となりました。

この結果、当事業の売上高は53億2百万円(前年同期比10.6%増加)、セグメント利益は9億7千9百万円(前年同期比88.3%増加)となりました。

#### (b) 電源機器事業

当事業におきましては、前期まで売上を牽引したメガソーラ用のパワーコンディショナが、前期末の駆け込み需要の反動やユーザー側での設置工事の遅れ等を原因として、売上高は18億4千4百万円(前年同期比30.9%減少)と大幅に減少いたしましたが、蓄電池システム用双方向インバータにつきましては、売上高4億7千7百万円(前年同期比11.4%増加)と堅調に推移いたしました。この結果、インバータ全体の売上高は35億6千3百万円(前年同期比26.3%減少)となりました。

一方、再生可能エネルギー事業の普及に伴う電力安定化のニーズを受けて、系統安定化電源及び試験装置の販売が伸びました。さらに、電解用直流電源、アルミ箔エッチング用電源等の東南アジアでの需要ニーズを的確に捉えることができ、海外での一般産業用電源の売上高は4億2千3百万円(前年同期比3億2千2百万円増加)と伸長いたしました。これらを含む一般電源の売上高は16億2千4百万円(前年同期比62.3%増加)となりました。

第4四半期につきましても、銅箔用電源装置等の需要を的確に捉えて伸長していく計画です。

これらの結果、当事業の売上高は101億9千3百万円(前年同期比13.4%減少)となり、セグメント利益は14億3千9百万円(前年同期比36.4%減少)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度に比べ5億9千4百万円増加し、281億9千7百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が19億2千万円減少したものの、現金及び預金が21億6千5百万円、商品及び製品が5億9千7百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度に比べ6億4千4百万円減少し、102億2百万円となりました。これは主に短期借入金が10億7千万円増加したものの、未払金が7億5千5百万円、未払法人税が5億9千3百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億3千8百万円増加し、179億9千5百万円となりました。これは、利益剰余金が8億5千5百万円増加したことによるものであり、この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は63.8%と前連結会計年度に比べ3.1ポイント上昇いたしました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました平成27年3月期の連結業績予想の数値を変更しておりません。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
  - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
  - (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
  - (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3 四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金 に加減しております

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が17百万円増加し、利益剰余金が11百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

# 3. 四半期連結財務諸表

# (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5, 212	7, 377
受取手形及び売掛金	8, 787	6, 867
商品及び製品	1, 987	2, 585
仕掛品	1,071	1, 175
原材料及び貯蔵品	1, 155	1, 215
繰延税金資産	577	411
その他	835	634
貸倒引当金	△16	△13
流動資産合計	19, 609	20, 253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,672	3, 259
機械装置及び運搬具(純額)	906	1, 278
土地	2, 297	2, 297
建設仮勘定	2, 061	71
その他(純額)	294	344
有形固定資産合計	7, 233	7, 251
無形固定資産		
その他	408	336
無形固定資産合計	408	336
投資その他の資産		
投資有価証券	135	152
繰延税金資産	172	160
その他	59	59
貸倒引当金	△16	$\triangle 17$
投資その他の資産合計	351	354
固定資産合計	7, 993	7, 943
資産合計	27, 602	28, 197

		(十匹:日/311)
	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4, 062	4, 228
短期借入金	1, 260	2, 330
1年内返済予定の長期借入金	300	300
未払費用	662	678
未払法人税等	779	186
賞与引当金	590	287
未払金	1, 911	1, 156
その他	733	547
流動負債合計	10,300	9, 715
固定負債		
退職給付に係る負債	131	73
未払役員退職慰労金	388	388
その他	26	24
固定負債合計	546	487
負債合計	10,846	10, 202
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	2, 698	2, 698
利益剰余金	11,093	11, 949
自己株式		$\triangle 4$
株主資本合計	16, 562	17, 417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	49
為替換算調整勘定	245	614
退職給付に係る調整累計額	△89	△86
その他の包括利益累計額合計	193	577
純資産合計	16, 756	17, 995
負債純資産合計	27, 602	28, 197

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	16, 563	15, 495
売上原価	11,869	11, 043
売上総利益	4, 694	4, 452
販売費及び一般管理費	2, 845	2, 945
営業利益	1,848	1, 507
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	11	9
受取賃貸料	10	9
為替差益	124	78
その他	11	18
営業外収益合計	161	121
営業外費用		
支払利息	25	23
支払手数料	2	1
株式交付費	14	_
デリバティブ評価損	7	90
その他	1	0
営業外費用合計	50	116
経常利益	1,960	1, 512
特別利益		
固定資産売却益	0	0
抱合せ株式消滅差益	40	_
特別利益合計	41	0
特別損失		
固定資産廃棄損	4	7
特別退職金	55	_
その他	0	<u> </u>
特別損失合計	61	7
税金等調整前四半期純利益	1, 940	1, 505
法人税、住民税及び事業税	389	233
法人税等調整額	162	181
法人税等合計	551	414
少数株主損益調整前四半期純利益	1, 388	1,091
四半期純利益	1, 388	1,091

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1, 388	1, 091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	10
為替換算調整勘定	297	369
退職給付に係る調整額	_	3
その他の包括利益合計	311	383
四半期包括利益	1, 699	1, 474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 699	1, 474

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セグメント		調整額 四半期連結損 計算書計上名		
	半導体事業	電源機器事業	計	(注) 1	(注) 2	
売上高						
外部顧客への売上高	4, 794	11, 768	16, 563	_	16, 563	
セグメント間の内部売上 高又は振替高	l	-	-	_	_	
計	4, 794	11, 768	16, 563	_	16, 563	
セグメント利益	520	2, 261	2, 781	(932)	1,848	

- (注) 1. 調整額は、報告セグメントに帰属しない本社部門の費用であります。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
  - Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	半導体事業	電源機器事業	計	(注) 1	(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	5, 302	10, 193	15, 495	_	15, 495
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	_	-	_	_
計	5, 302	10, 193	15, 495	_	15, 495
セグメント利益	979	1, 439	2, 418	(911)	1,507

- (注) 1. 調整額は、報告セグメントに帰属しない本社部門の費用であります。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。